

名古屋大学G30における国際コース設計の 基本的な考え方

名古屋大学 国際担当理事
渡辺 芳人

部局の壁を乗り越えた学部カリキュラム設計

理工系に共通する科目（数学・物理・化学・生物・地球科学）

- ・理工系の部局、学科でG30国際コース（英語コース）を立ち上げる場合、**教養課程では、数学・物理・化学・生物・地球科学の五分野の科目を提供する必要がある**



一部局によるG30国際コースの開講は、不可能



理学・工学・農学が1, 2年次の化学・生物 (生化学)・物理の専門基礎科目講義を共有する事で解決出来ないか？

- ・講義の共有化による英語講義負担の軽減を提案



物理（理・工）、化学（理・工）、生物（理・農）でコース開設
地球科学・数学は、外国人教員の新規雇用で対応

部局の壁を乗り越えた学部カリキュラム設計

文化系に共通する科目

- ・ 理工系教養課程講義の共有化構想を受けて、経済学研究科・法学研究科が、文系の基礎科目を共同提供するG30国際コースの開講を提案



↓

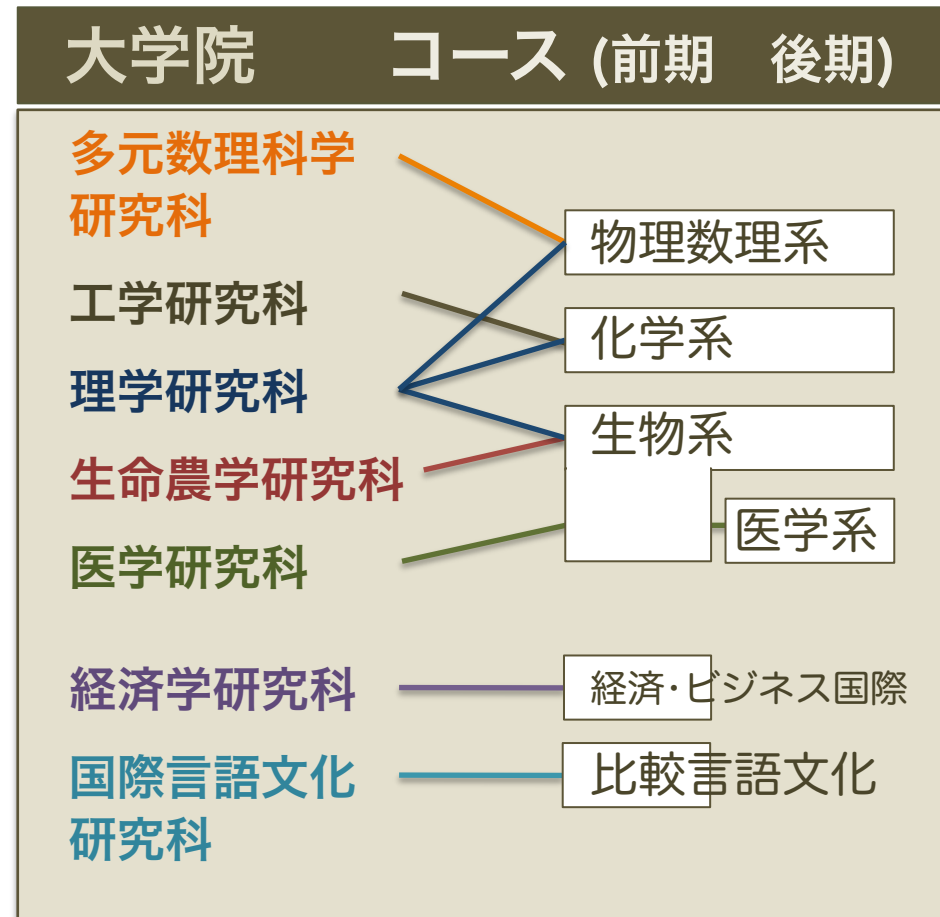
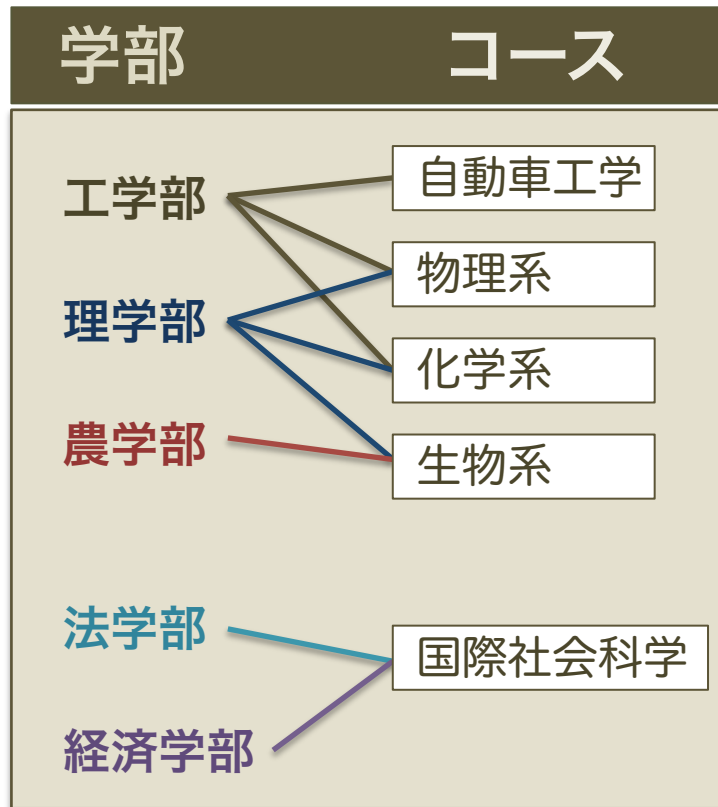
理系、文系の同時開講により、1, 2年次の理系の学生への文系科目提供、文系学生への理系科目提供が可能となった



↓

独自の開設は難しいと思われた工学研究科の自動車工学（機械、材料、電気・電子など）が、学部生受入コースとしてG30国際コースを開設

新設G30国際コースの全容



H26年10月開講



G30国際コースへの支援：外国人教員の採用

各コースに平均3名の外国人教員を配置

- G30学生は、TOEFL (iBT)で80点が最低条件ではあるが、non native English speakerが多数のため、初年次教育は、native English speakerの教員中心の講義編成



2年次後期の専門基礎科目からは、日本人教員が中心的な役割

G30教員への配慮

- G30教員が研究に参画できる環境の提供：研究分野の近い研究室への配置（共同研究の推進）
- 科研費申請への支援
- 雇用条件：最長10年の雇用。希望者は、2ヶ月の長期休暇取得可能な制度の新設
- G30教員用宿舎の設置



G30国際コースの波及効果

英語による講義数の増加

- ・ H22年度：200コマ ⇨ H25年度：500コマ
- ・ 教員の講義負担減と国際化政策 ⇨ 大学院講義の英語化の加速

欧米からの交換留学生受入数の拡大 = 名大生の留学先拡大

- ・ 益川が学んだ「素粒子物理」、野依が育てた「触媒化学」などの講義は、欧米の学生にとっても魅力的
⇨ 名大に短期留学するgood reasonの提供



日本人学生のG30講義受講

- ・ 全学の規程：日本人学生（学部段階）は、学部専門科目の単位数の50%を上限に、G30講義の単位を認定
- ・ 部局毎に、上記の範囲で、認定可能単位数を設定

參考資料

留学生の国籍（1）

留学生受入数（国別TOP10）

	Country/ Region	Number 2011
1	China	936
2	Korea	163
3	Indonesia	59
4	Vietnam	55
5	Malaysia	53
6	Taiwan	49
7	Cambodia	46
8	Uzbekistan	36
9	Bangladesh	26
10	Thailand	23
-	Others	303
Total	Enrolment	1,749

Country/ Region	Number 2012
China	929
Korea	172
Indonesia	64
Malaysia	52
Taiwan	49
Vietnam	47
Cambodia	45
Uzbekistan	35
Bangladesh	32
Philippines	28
Others	346
	1,799

留学生の国籍 (2)

G30国際プログラム志願者数 (国別)

	Country/ Region	Number 2011	Country/ Region	Number 2012	Country/ Region	Number 2013
1	Japan	37	Japan	50	Japan	70
2	Korea	25	Indonesia	25	Korea	24
3	Malaysia	14	USA	15	Indonesia	17
4	Thailand	9	Korea	15	Malaysia	17
5	China	9	China	13	USA	15
6	USA	8	Uzbekistan	11	India	15
7	Uzbekistan	7	India	7	China	10
8	Singapore	5	Taiwan	6	Taiwan	10
9	Mongolia	5	Malaysia	6	Uzbekistan	10
10	Mexico	5	Singapore	5	Vietnam	9
11	Pakistan	4	Thailand	4	Thailand	7
12	India	4	Nepal	3	Singapore	5
13	Taiwan	3	Vietnam	3	Pakistan	4
14	Vietnam	3	Canada	3	Nepal, Turkey, New Zealand, Sri Lanka, Nepal, Philippines	3
15	Canada	3	Hong Kong	2	Mongolia	2
16	Hong Kong	2	Australia	2	Hong Kong, Bangladesh, Myanmar, Russia, Kyrgyzstan, Canada, Colombia, Argentina, Italy, Czech, Hungary, Latvia, Lithuania, Cameroon, Zambia, Mozambique, Kenya, Egypt	1
17	Australia, Iran, Indonesia, UK, Spain, Zambia, Sweden, Ghana, Kyrgyz, Nigeria, Nepal, Bangladesh, Poland	1	New Zealand, Pakistan, Turkey, Spain, Banglad- esh, Mongolia, Israel, France, Uganda, Poland, Nigeria, etc	1		

英語による講義数の推移

英語授業数

